

【開講日】平成30年10月24日(水)

あき 三鷹サテライト教室

仏教・宗教

三鷹

302005

親鸞さまの手紙を読む

— 妻・恵信尼の手紙 —

受講料 (振込額)	12,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	水曜日		日 程	
	時間	10:00～12:00			
	回数	全6回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	浄土真宗本願寺派万行寺住職・東京仏教学院講師・アユス仏教国際協力ネットワーク理事 本多 静芳 (ほんだ しずよし)				
	1957年東京生。 慶應義塾大学文学部哲学科卒。東洋大学大学院修了。元武蔵野大学助教授。元東洋大学非常勤講師。 大乘仏教、特に浄土教の大乘菩薩道の社会性を研究領域とする。 主な著書に『改訂新版「歎異抄」を読む』『歎異抄に学ぶ大乘仏教入門』『いのち見えるとき』『心を豊かにする』62のヒント』『信心の日暮らし～仏教のある社会生活』『親鸞入門(共著)』『戦争と追悼(共著)』『真宗における救いと他』『みんなの法話1(共著)』他。 浄土真宗万行寺住職、東京仏教学院講師、アユス仏教国際協力ネットワーク理事、念仏者九条の会・東京代表。				
内容	親鸞聖人の妻・恵信尼(1182～1268)の手紙を読みます。親鸞聖人が亡くなった後で、末娘の覚信尼(1224～1283)との間に交わされたものであると考えられています。 断簡といい、一部が破損した手紙もあり、数え方によって違いがありますが、今は、八通に及ぶ手紙として編集されています。 内容は、夫・親鸞の若き日の思い出、恵信尼自身の身のまわりのこと、覚信尼に宛てた遺産、などなどです。浄土真宗の教えについては説かれることは殆どありません。むしろ、恵信尼の真宗の理解と親鸞聖人のそれとは異なる部分が見られます。 恵信尼の手紙は、大正時代になって本願寺の蔵で発見され、それまで、不明だった親鸞の身の上起きた出来事を知ることのできる貴重な資料とされています。 参考図書：『浄土真宗 註釈版聖典』本願寺出版 5,460円				
	※こちらの講座は、大学の記録用としてビデオの収録をさせていただきます。 講師を中心に教室の後方から撮影をし、個人が特定できないように配慮いたしますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。				
	①10月24日：『恵信尼の手紙』(その1) 六角堂の参籠 ②11月28日：『恵信尼の手紙』(その2) 親鸞の発熱と自力の心 ③12月12日：『恵信尼の手紙』(その3) 飢饉と家族など ④1月23日：『恵信尼の手紙』(その4) 恵信尼の宗教観 ⑤2月27日：『恵信尼の手紙』(その5) 身のまわりのこと ⑥3月27日：『恵信尼の手紙』(その6) 老衰した恵信尼から覚信尼への願い				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室 平成28年3月より南口に移転



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7 F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。